

## ディボーション質問表



エゼキエル書は預言した時期によって、大きく3つに分けられます。1～24章はエルサレム包囲前、25～32章はエルサレム包囲中、33～48章はエルサレム陥落後の出来事と預言について記されています。エゼキエルはエレミヤと同時代の人物ですが、彼はエレミヤとは違って南ユダの人々と一緒にバビロンに捕囚の民として移されました。そしてそこで神からの幻を受けました。

### 25日(月) エゼキエル書 1:1～14節 召命の幻1

1. エゼキエルが神からの幻を受けた時の状況が書かれています。彼について分かること、この幻を受けた時の状況で分かることを書き出してみましょう(1～3節)  
※ケバビ川のほとりには、南ユダからの捕囚民が集められていた地域があったことが分かっています。
2. エゼキエルが見た幻はどのようなものだったでしょうか? 書き出してみましょう(4～14節)。

### 26日(火) エゼキエル書 1:15～28節 召命の幻2

1. 今日の箇所に出てくる幻はどのようなものでしょうか? これらの幻を通して神様は何をエゼキエルに示そうとされていると思いますか?
2. 神様の御座を見たエゼキエルはどうしましたか(28節)?

### 27日(水) エゼキエル書 2:1～10節 召命のことは1

1. 神様が語られると何がエゼキエルに入りましたか(2節)? →私は聖霊に満たされているだろうか?
2. 罪の社会に神様は何が必要だと言われましたか(5節)? →周りが聞くか聞かないかは関係なく私は神の言葉を伝える者でしょうか? み言葉に生きていますでしょうか?
3. 神様のみ言葉を運ぶ者にどのような励ましがありますか(6～7節)? →私は人を恐れているだろうか? その上におられる全知全能な方を畏れているだろうか?

### 28日(木) エゼキエル書 3:1～11節 召命のことは2

1. エゼキエルは巻物をどうしましたか(1～3節)? →御言葉を食べることは私の生活にあてはめるとどうということだと思いますか?
2. 神様の代言者は社会ではどのような立場でしょうか? そのような立場をやりきる力はどこからくと思いますか(4～9節)? また、代言者はどのようにして語る言葉を準備していますか(10節)?

### 1日(金) エゼキエル書 3:12～27節 エゼキエルの任務

1. 神の代言者とはとても辛い仕事になることをエゼキエルは正直に述べています(14～15節)。
2. 18～19節を読んで代言者の責任について見てみましょう。 →私たちに福音を語る義務はあるでしょうか?

### 2日(土) エゼキエル書 4:1～17節 エルサレム包囲の預言

エゼキエル書の特徴として幻を見ることもありますが、象徴的な行動を神さまから命令され、民の前でエゼキエルはそれを演じて預言をすることも特徴です。

1. エゼキエルはどんな象徴的行動を取るよう神様に命じられましたか? どのような意味がありますか?  
→神様の前で罪を犯すことはどれほど醜く苦しいものなのでしょうか?
2. さすがのエゼキエルも神様の指示がきつくて、神様に打診しました。それは何ですか(12～15節)?  
→私たちの神様は義なる方で罪を憎みますが哀れみもある方と知っているのでしょうか?

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**